

第 78 回山口県美術展覧会 要項

令和 8 年 2 月 26 日（木）～ 3 月 15 日（日）

山口県立美術館

the 78th Kenbiten



1 趣旨

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること（つくる）のみならず、美術作品を鑑賞すること（みる）や美術文化を支えていくこと（ささえる）もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

(1) 「つくる」

自由な意識や現代社会に根ざして制作した作品を幅広く募集し、厳正な審査ののち、優秀なものを展示します。

(2) 「みる」

審査員の視点や考え方を直に体感することのできる公開審査をはじめ、「みる」ことの多様性を体験できるプログラムを開催します。

(3) 「ささえる」

山口県立美術館や地元商店街が軸となって開催している「HEART（美術館まちなか交流事業）」と連携し、地域を基盤に、芸術支援活動を促進するプログラムを展開します。

2 会期および会場など

(1) 会 期：令和 8 年 2 月 26 日（木）～ 3 月 15 日（日）

休館日 3 月 9 日（月）

(2) 会 場：山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町 3-1 TEL：083-925-7788

(3) 開館時間：9:00 ～ 17:00 （入場は 16:30 まで）

(4) 観 覧 料：一般 600（480）円 学生 500（400）円

（ ）内は 20 名以上の団体料金

※ 70 歳以上および 18 歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。

※ 障がい者手帳等をご持参の方と、その介護の方 1 名は無料。

3 審査について

(1) 審査員（50音順）

花田 伸一（はなだ・しんいち）

キュレーター、佐賀大学芸術地域デザイン学部教授。1972年福岡県生まれ。九州大学文学部哲学科美学美術史専攻卒業。北九州市立美術館学芸員（1996～2007）、フリーランスを経て現職（2016～）。美術館企画のほか地域でのアートプロジェクトを多く手掛ける。主な企画に「6th北九州ビエンナーレ～ことのはじまり」（北九州市立美術館、2001）、「千草ホテル中庭PROJECT」（北九州市、2008～15）、「ながさきアートの苗プロジェクト2010 in 伊王島」（長崎市、2010）、「街じゅうアート in 北九州2012 ART FOR SHARE」、「ちくごアートファーム計画」（九州芸文館、2014・15・19）、「佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート」（佐賀大学、2017～24）、「響きあうアート」（佐賀大学美術館、2023）。企画協力として「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014」「釜山ビエンナーレ2014特別展アジア・キュレトリアル」。共著に『Art Guide to Asia』（国際交流基金、2009）他。山口県美展の審査は初めて。

やなぎみわ

美術作家、舞台演出家。1967年兵庫県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科（工芸専攻）修了。1993年にエレベーターガールをテーマにした作品で初個展、以後「婆々娘々!」（国立国際美術館、2009）、「神話機械」（高松市美術館他5館、2019～20）など国内外で個展多数。第53回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展（2009）の日本代表作家。2011年より演劇活動を開始、近代美術の黎明期などをテーマに美術館や劇場で公演、北米ツアーも果たす。2014年に台湾製の特殊なステージトレーラーを製造、輸入し、野外巡礼劇を各地で公演。2021年には、台湾文化局の依頼で、台湾語オペラ「アフロディーテ～阿婆蘭～」の脚本・演出・美術を手がけた。神戸では海上公演を行い、その後、時宗の一遍上人の軌跡と芸能を研究する「YUYAKU 踊躍歓喜」が発足。近年は鋳造作品も手掛け、大岡信賞、大佛次郎賞など、文学賞の賞牌制作も行っている。山口県美展の審査は初めて。

鷲田 めるろ（わしだ・めるろ）

金沢21世紀美術館館長。東京藝術大学准教授（2023～）、金沢美術工芸大学名誉客員教授（2022～）。1973年京都府生まれ。東京大学大学院美術史学専攻修士課程修了。世田谷美術館を経て、1999年から開館準備中の金沢21世紀美術館のキュレーターとなり（～2018）、2004年開館以降は「妹島和世＋西沢立衛／SANAA」展（2005）、「金沢アートプラットフォーム2008」（2008）、「島袋道浩：能登」（2013）など、地域との交流や市民参加をテーマとした現代美術展、建築展を多数企画。一方で、金沢在住の若手美術家、建築関係者とともにCAAK（Center for Art & Architecture, Kanazawa／2007～2017）を設立し、金沢の町家を拠点としたアーティスト・イン・レジデンス活動を主催するなど、地域での活動も展開。第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館キュレーター（2017）、あいちトリエンナーレ2019キュレーター等を歴任。十和田市現代美術館館長（2020～2025）を経て、現職（2025～）。山口県美展の審査は3回目。

(2) 審査方法

審査は、作品のジャンルを分けず、以下の3段階で行います。またすべての審査段階を公開します。

- ① 一次審査：入選候補作品を選定
- ② 二次審査：入選作品を選定
- ③ 三次審査：入賞作品を選定

(3) 賞

大賞	1名（賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間提供と、展示作品の制作費50万円）
優秀賞	5名（賞状・賞金5万円）
佳作賞	（賞状）

4 出品について

次項（1）の「出品の条件」を満たし、搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。応募点数に制限はありません。ただし、以下の点については予めご了承ください。

- * 作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における不慮の事故および災害等による作品の破損、亡失等については、責任を負いかねます。
- * 搬入受付後に作品に変更を加えることは、原則として認められません。
- * 出品者の責任により美術館の施設に損傷を与えた場合は、原状復帰のための費用を負担していただくことがあります。

《展示された作品の撮影について》

- * 県美展をより開かれたものとするために、原則として、展示された作品は展覧会入場者によって撮影され、またSNS等に投稿されることを可とします。ただし、これによって問題が生じた場合は、撮影者の責任において対処するものとし、主催者は責任を負わないものとします。

(1) 出品の条件

- ① 作品は、自己の創作したものであること。
- ② 作品は、審査を伴う公募展で展示されていないものであること。
- ③ 作品は、著作権や肖像権、商標権など、他者の権利を侵害しないものであること。
- ④ 作品は、通常の美術館の活動に支障を与えないものであること。
(危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼすものは不可)

(2) 作品搬入時の留意点

審査の円滑な進行のため、搬入受付時に、事務局で作品を以下の2つのタイプに分類します。

《Aタイプ》：審査に際して、比較的容易に移動が可能な作品

(例：絵画や写真など、主に壁に掛けて展示する作品)

→【繰り出し審査】審査員が着席し、その前に作品を繰り出して審査します。

《Bタイプ》：大きい、重い、割れやすい、など、審査中の移動が難しい作品

(例：陶芸、彫刻、インスタレーション、大部の組作品等)

→【据え置き審査】審査員が移動し、据え置きされた作品を審査します。

(3) 事前協議

搬入および審査を滞りなく進行させるため、以下の場合、事務局と事前の協議が必要です。

協議の上、必要と判断される場合は、作品設置のためのスペースを用意します。

なお、設置場所の選定等については事務局に一任していただきます。

① 《Bタイプ》に該当すると想定されるもののうち

- ・一辺が3mを越える寸法のもの
- ・重量が200kg以上のもの
- ・極端にもろい材質のもの
- ・作者による展示作業が必要な組作品やインスタレーション

② 映像作品など、特別な機器・電源等を要するもの

上記①②に該当する場合は、以下の受付期間内に、山口県立美術館までお越しください。

① 日 時：令和7年12月6日(土)～12月14日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:30

② 受付場所：山口県立美術館 総合受付(休館日は通用口にお越しください)

③ 必要なもの：展示プラン(素材、寸法、展示イメージ図を明記したもの)

(4) 出品料

1点につき4,000円を、出品目録に添えて、搬入日当日に納入してください(組作品の場合は、1組を1点とみなします)。受付後の出品料の返却には応じられません。

(5) 作品の搬入

① 日 時：令和8年2月6日(金)～2月8日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:00

② 受付場所：山口県立美術館 搬入口(山口市役所側の通用門から入り、建物の裏にまわってください)

(6) 作品の搬出

全ての作品は以下の日程で返却します。なお搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

① 日 時：令和8年3月20日(金)～3月22日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:00

② 受付場所：山口県立美術館 搬入口

(7) 搬入および搬出の費用

出品者の負担とします。出品者による美術館での搬入出を原則としますが、やむを得ない事情により、事務局手配による返却をご希望の場合、その経費は着払いとします。

※梱包した状態で、3辺〔縦×横×高さ〕の合計が260cm、総重量50kgを超える作品の返送については、事務局では対応できません。

また、返送にあたっての梱包は、搬入時の資材を再利用して行うこととします。

5 審査の公開について

(1) 審査の傍聴

審査会は公開します。また審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。傍聴をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。お申し込みがない場合、傍聴できません。

① 日 時：令和8年2月10日（火） 9:30～17:00

2月11日（水・祝）9:30～12:00

② 会 場：山口県立美術館

③ 申込方法：山口県立美術館ホームページ（<https://y-pam.jp>）の申し込みフォーム、FAX、はがきのいずれかでお申し込みください。出品していない方でも、傍聴可能です。

【記入事項】傍聴希望日・住所・氏名・電話番号

【申込期間】令和8年1月5日（月）～2月8日（日）必着

④ 申し込み・お問い合わせ：〒753-0089 山口市亀山町 3-1 山口県立美術館 県美展事務局

TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790

※ご記入いただいた個人情報は、第78回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。

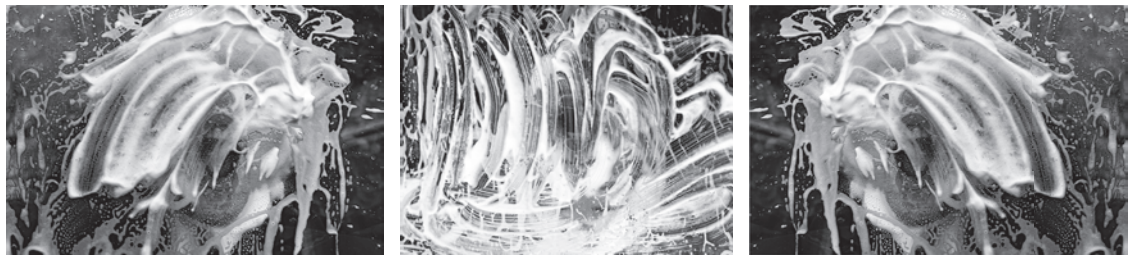
(2) 審査結果発表

展覧会の開会に合わせて、山口県立美術館ホームページ等で発表します。

出品者には、審査後1週間程度で、郵送にて審査結果を通知します。

6 特別展示

前回の大賞受賞者、平田 詩織氏による新作を展示します。



第77回山口県美術展覧会 大賞受賞作品

平田 詩織 《Self - Portrait 25 - 1》

7 ワークショップ「自作を語る」

第78回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に、お送りいただいた自作解説文を掲示する形で、ご自身の入選作品について語っていただきます。

8 「HEART（美術館まちなか交流事業）」との連携

山口県美術展覧会の歴代受賞者（優秀賞以上）の作品紹介・販売などの事業を、山口県立美術館だけでなく、周辺の地域とともに展開します。

9 主催

山口県

10 第78回山口県美術展覧会運営委員（50音順）

岡田 泰	陶芸家、日本工芸会山口支部幹事、日本陶芸美術協会常任幹事、萩陶芸家協会常任理事
岡本 正康	下関市教育委員会 教育部次長
倉田 研治	山口県立大学国際文化学部 准教授
中野 良寿	美術家、信州大学教育学部 教授、山口大学教育学部 名誉教授、N3 アートラボ代表
原井 輝明	画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授
藤井 正明	山口県観光スポーツ文化振興課 文化振興課長
山本 綾香	アスピラート [防府市地域交流センター] 副館長
若林 英樹	山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長

11 事務局

山口県美術展覧会実施協議会 〒753-0089 山口市亀山町 3-1 山口県立美術館内
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790 E-mail: a19304@pref.yamaguchi.lg.jp
<https://y-pam.jp>

※郵便によるお問い合わせをご希望の場合は、往復はがきをご使用になるか、返信用封筒を同封してください。

第78回山口県美術展覧会出品目録

記号		番号		よみかた		備考（素材・技法など）			
※		※							
A		B		題名					
ふりがな 氏名 (本名)				連絡先 (住所・電話番号)					
生年月日 (西暦)				年 月 日		(〒 -) (Tel.)			
公表用氏名				□ 本名と同じ		返却方法		受付日	
				□ 本名と異なる		下記のいずれかに✓をつけてください。 □ 会場受領 □ 事務局手配による輸送 (料金着払 [3辺合計 260 cm、50 kg以内]) □ ご自分で手配された画材店等による搬出		※ 2/6 2/7 2/8	
*新聞・パンフレット等に公表される際には、右欄に記入されたとおりに記載されます。				出品の条件				《展示された作品の撮影について》 ・原則として、展示作品は入場者によって撮影され、SNS等に投稿されることを可とします。問題がある場合はご相談ください。	
				*作品は、自己の創作したものであり、審査を伴う公募展で展示されていない。 ・作品は、著作権や肖像権、商標権など、他者の権利を侵害していない。 ・作品は、通常の美術館の活動に支障を与えないものである。 (危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼさない)					
				*出品作品が、右欄の条件を満たしていることをご確認のうえ、右上の□に✓をつけてください。					

作品預り証

様

令和8年2月 日
山口県美術展覧会実施協議会

※ 受付

※

A B

* 作品の搬出日時は3月20日(金)～22日(日) 9:00～12:00、13:00～16:00です。
* 必ず、この作品預り証をご持参ください。
* 搬出日を過ぎても受け取りに来られない作品については、出品者に断りなく処分させていただきます。

※		A		B		※	
題名		氏名		住所		〒 品 郵	

【記入上のお願い】

* 本目録は、搬入受付時、出品料を添えて、作品1点につき1枚を提出してください。

* 複数点出品される方は、本目録をコピーしてご使用ください。

* ペンかボールペンを使い、楷書で、太枠内のみ記入してください。

※のついた項目は記入しないでください。

* 住所は出品者本人の住所を記入してください。

* ご記入いただいた個人情報、本展覧会業務以外には使用しません。

← 出品票は、太枠内を記入し、点線に沿って切り取った上で、出品する作品に、はがれないように貼ってください。
(平面作品は裏面右上、それ以外は右下もしくは底部)

※ 出品票が貼られていない場合、出品を受け付けられません。